

もくじ

(2) 戸ノロぜき

写真からどんなことがわかるか話し合ってみましょう。

① 水の通る橋



右の写真を見ながら、ふしぎに思ったことをみんなで話し合いました。「山の中を川がぐるっと回って流れているよ。これは何だろう。」



「川の中に門みたいのがあるよ。水を止めているのかな。」



「橋がかかっていて、その中を水が流れているよ。」



「橋の下には、川が流れているわ。川の上にまた川があるんだね。」



「どうして、川の上に水の通る橋なんてつくったのかしら。」



「この橋の中を流れる水は、いったい何に使うのかな。」
いろいろな感想を出し合っていると、先生が次のような話をしてくださいました。

「この橋は、飯盛山近くの不動川にかかっている、戸ノロぜきという用水路の橋です。不動川に初めて戸ノロぜきの橋がかかったのは、今から300年ほど前のことです。」

戸ノロぜきは、どんな人たちが、何のためにつくったのでしょうか。

川の上にかかる「水の通る橋」水のしくみはどのようになっているのでしょうか。

あなたがふしぎに思ったことをノートに書いてみましょう。

川の上にかかる「水の通る橋」



反対がわから見た「水の通る橋」とまわりの土地のようす

だんめん図



戸ノ口せき水路図



掲載情報の著作権は会津若松市教育委員会に帰属します。